

2025年1月22日

金型挙動監視システム「V-Mold」の機能アップに向けた実証を開始

東海エレクトロニクス株式会社（代表取締役社長：大倉慎、所在地：愛知県名古屋市）は、無線センシングを用いて金型の挙動を監視するシステム「V-Mold：Visualization of Mold」を2024年4月より販売しています。このたび、その機能アップとしてAIによるフィードバック機能を搭載し、実証実験を開始しました。

V-Moldは、射出成形機の金型にセンサを設置して圧力、温度、変位を計測し、金型内部の挙動を可視化することで、適切な監視により成形不良やトラブルを未然に防ぎ、金型の劣化や破損が生産工程に及ぼす悪影響を軽減します。

また、無線センシングで高精度なデータ計測を実現し、リアルタイムでの成形条件調整や品質監視が可能です。定期的なメンテナンスにより金型の寿命を延ばし、波形分析で樹脂挙動の理解や不具合原因の究明にも活用でき、樹脂成形金型を適切に管理することで、製品の高品質の維持と生産効率の最大化につながります。（添付のV-Mold紹介資料をご参照下さい）

今回実施する実証実験は、V-MoldとAIとの組み合わせにより成形条件の自動調整や不良と判断した結果をリアルタイムに成形機へフィードバックするシステムへ発展させることを目的としています。今後、実証の進捗についてはホームページ等でお知らせして参ります。

当社はソリューションプロバイダーとしてお客様の課題に向き合い、改善に向けたシステムを引き続き構築して参ります。樹脂成形で課題をお持ちのお客様は、ぜひ弊社へお問い合わせください。

本件に関するお問合せ先

東海テクノセンター株式会社 社会インフラシステム事業部

社会インフラシステム営業部 杉谷 淳一

TEL：052-262-7640 E-mail：junichi.sugitani@tokai-ele.com

HP：<https://www.tokai-ele.com/>

金型挙動監視システム「V-Mold」紹介資料（詳細は下記弊社案内をご参照下さい）

<https://www.tokai-ele.com/topics/20250122.pdf>